

2009年度 出向者報告

■社団法人 日本青年会議所

構造改革検証委員会

委員 林 潤

昨年は鎌倉JCに入会して初めて、日本青年会議所に出向する機会をいただき、感謝しています。同委員会は現役の国会議員が中心となり、東京・永田町の議員会館の会議室で開かれた珍しい？形式です。メンバーは元々仲の良かった自民党の同僚議員はもとより、30代の民主党はじめ他党の議員とも議員連盟の会合以外で交流できたので、貴重な経験でした。

構造改革を検証するという趣旨で、メンバーがまず、自己紹介と意見交換。会員のほとんどが現職議員であるため、委員会や党の勉強会、地元行事などで多忙な中の出席で、入れ替わりや、30分程度しか出席できない議員も多かったように思います。

構造改革がもたらしたものは何だったのか？一般的に言われているような「光」と「影」論だけで総括できるのだろうか？と疑問を持ちながらも、議員各自が構造改革そのものについて真剣に討論し、検証する姿はこの委員会ならではのものでした。私は専門分野である医療・年金の視点から構造改革について意見しました。『小泉改革の正の部分はたくさん挙げられるが、医療については「先に数字ありき」の考えが良くない負の部分である。18年、20年の診療報酬改定に関わったが、医療現場が単に切捨てで振り回される姿を望まない。医療費は毎年1兆円増えるが、収支のバランスが大切で、収入の部分も高齢化率に応じて保険料を改定するなど社会全体で医療を支える構造を描くべきだ。医療における構造改革も検証が必要だ』と話しました。

この委員会は会員各自の時間が合わないため、出席率が低いことが残念でしたが、21世紀初頭の日本政治史の一時代の30代の声をまとめられたことは意義深いと感じます。

説得力のある教育実践委員会

委員 中谷 さえ

嗚呼、憧れの出向ライフ！日本各地にかくも多くの友人を得たことか！総ての委員会に出席できた訳ではないけれど、京都に始まり、東京2回、横浜、沖縄、長崎、松本と可能な限り行脚して参りました。

鎌倉発祥で今や全国20LOM以上で展開されているてらこや運動を、日本各地域での青少年への教育に活かすことが出来ないかと模索する委員会として、京都会議での湯澤先輩による基調講演志を皮切りに、志を同じうする者 相集い 酒ヲ酌ミ交ワシ 力を合わせ、本当に有意義なニッポン出向活動を経験させていただきました。

私個人としては、一家庭人として中々思うままに出向できずにおりましたが、ラストだから～ちょっといい旅・夢気分～な下心もありました。委員会の結果は、データ化され各地青年会議所への発送を持って終了となりました。LOMへの還元は、一緒に出向した兵藤君へ立派に引き継ぎたいと思います。青年よ大志を抱け、そして日本を見よ！百聞は一見にしかず、是非の出向を。

これまで支えてくれた多くの皆様に感謝申し上げ、出向者報告とさせていただきます。
「私は本当に幸せ者でした。普通のオバチャンに戻ります。ありがとうございました。」

説得力のある教育実践委員会

委員 兵藤 忠洋

私は本年度、日本青年会議所の説得力のある教育実践委員会に出向しました。この委員会では、子供達に知識の詰め込みではなく人間としての生き方を伝えることに主眼を置き、「てらこや運動」に代表されるような、大人と子どもが地域と一体となり複眼的にそして地域色豊かな人間形成を目指すプログラムを作るため活動しました。私は鎌倉てらこやに携わっていた為、この観点からの意見を幾度となく求められました。そして最終的に「J C版寺子屋プログラム」が完成し各地青年会議所に送り届けることができました。私は日本J Cには初めての出向でしたが、全国から個性的なメンバーが集い懇親を深められた事や、各地で受けた暖かいおもてなしなど忘れる事ができない思い出となりました。

最後にこの貴重な機会を下さいました田中理事長、一緒に出向してくれた中谷さえ君、ご協力頂いた全ての皆様に感謝を申し上げ出向者の報告とさせていただきます。

■社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会

159ネットワーク委員会

委員 菅原 正純

2009年 私は、関東地区の159ネットワーク委員会に出向させていただきました。この委員会に出向したのは、2008年に関東地区の事務局に事務局員で出向させていだいた時に、一緒に事務局員をやっていた。友人が副委員長で、出向すると聞き出向させていただきました。

159ネットワーク委員会は、主に何をやる委員会かという、関東地区内の各地青年会議所159LOMで行われている各事業を159LOMの皆様にお伝えする事業や、横須賀にて行われた会員大会内でセミナーを一つ開催し、そのセミナーにて、各地で行われている事業に参加いただいた皆様に興味のある事業をみんなでブラッシュアップし、さらにいい事業にしていけるような事業も経験させていただきました。また、教育再生フォーラムにて講演会の開催や、田中理事長にご協力いただきパネルディスカッションも開催させていただきました。さらに沖縄で開催された全国会員大会の大懇親会で関東地区協議会のブースを担当させていただきました。このように一年間さまざまな経験をさせていただきいろんな機会を与えてくださった鎌倉青年会議所メンバーの皆様々に感謝を申し上げ関東地区159ネットワーク委員会の出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

会員交流委員会

委員 石井 紀彦

2009年度、私は関東地区協議会の会員交流委員会に委員として出向させていただきました。この委員会は教育・市民討議会・災害などをテーマとしたセミナーが一堂に開催される合同フォーラムの運営や横須賀で行われた関東地区協議会第57回会員大会の開催、そして箱根で開催されたありがとう関東地区など運動を発信するための受け皿となる事業

を行う役割を負った委員会でした。多くの事業に関わる当委員会に出向させていただいた事は、初めての関東地区出向ながらも多くの学びを得る機会なり私自身の資質向上にも繋がったと思います。また関東地区内青年会議所メンバーとの交流の中から他 LOM の事業を知り大いに刺激を受ける機会にもなりました。本年の出向で得たこれらの経験を今後の青年会議所運動に活かしていけるよう来年度も活動していきたいと思ひます。

最後に本年、出向という機会を与えてくださった田中理事長をはじめとする鎌倉青年会議所の皆様に、深く感謝を申し上げ出向者報告とさせていただきます。

会員交流委員会

委員 酒井 武士

私は本年、関東地区協議会の会員交流委員会に出向させていただきました。

当委員会では関東地区協議会での合同フォーラムの主催と、7月に開催された関東地区大会・横須賀大会を担当する委員会として、多くの事業展開を行って参りました。

私の所属した小委員会では主に横須賀大会の運営に関わり、企画段階から当日の設営まで他の出向者と共に様々な経験をさせていただきました。中でも大会当日はメインフォーラムの司会という大役を任せて頂き、私の JC 生活のハイライトというべき貴重な一日を過ごす事が出来ました。また昨年に引き続いての地区協議会への出向という事から様々な地域の活動を知り、LOM へのフィードバックを行う事が出来る出向活動であったと考えています。末筆では御座いますが、この出向の機会を与えて下さった田中理事長と鎌倉青年会議所会員の皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

■社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会 神奈川ブロック協議会

会員会議所連絡会議

委員 飯塚 眞弘

2009年、本委員会に出向させていただきました。当委員会への出向は2003年度に続き2度目ということもあり、前回の反省を活かし活動にのぞみたいと考えておりました。

当委員会では事業としては志塾の開催に主眼を置いており、本年も数回の開催をいたしました。またもうひとつ重要な要素として神奈川ブロック21会員会議所の執行部間が各々の会議所活動について情報交換を行い、個性ある事業の中にも青年会議所の目指すビジョンの共有化を図ることで、この委員会の存在が地域に対しより分かりやすいJCであるための一助になると考えられています。そのような中、本年度も例外なく委員会の志を全うできたもの信じます。

最後になりますが、本委員会へ出向させてくれました田中理事長、そして共に出向させていただいた村島専務に感謝申し上げ、活動報告とさせていただきます。

会員会議所連絡会議

委員 村島 直丈

2009年度、神奈川ブロック協議会の会員会議所連絡会議に委員として出向させていただきました。この会議体は各LOMにおいて主に執行部を担うメンバーで構成され、本年は、「見識」・「胆識」を体得する事を目的とした「志塾」の開催により「知行合一」を生き方

の規範に定めた説得力のある地域のトップリーダーの育成に取り組みました。また、ネットワーク会議や会長公式訪問を通じて確実に日本 J C の動きを神奈川県下 2 1 L O M に発信し強固な横の繋がりの実現を目指しました。

私はこの出向により、今まで受講する機会の無かった「志塾」の受講により得がたい知識を得ることで、意識の変化と共に視野の拡大に繋がりました。また、県下の重責を担うメンバーとの交流のなかで、強い刺激を頂くと共に、目指す方向性が同一であるという確認から信頼という名のもとに約束された青年会議所運動の推進力を得たように思います。私は、本年をラストに卒業しますが、これから機会の残されたメンバーには、是非ともこの会議体に進んでご出向され、多くの宝を L O M に持ち帰って頂く事を願います。

最後になりますが、本年この出向の機会をくださいました田中理事長をはじめとする鎌倉青年会議所の皆様に、心より敬意と感謝を表し出向者報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

ブロック事業推進委員会

委員 磯部 伸夫

私は 2009 年度、(社) 日本青年会議所、神奈川ブロック協議会、ブロック事業推進委員会に出向させていただきました。今回、私自身昨年続く神奈川ブロック協議会への出向でした。本年は、鎌倉での会員大会を控え、重要なサポート、広報を担う委員会として、責任感を感じました。

この委員会の主な活動として、広報活動で神奈川県内の各会議所への P R を行いました。県西、県央方面など普段は立ち寄ることのない会議所に行けたことはよい経験であるとともに楽しい面もありました。最後にこのような貴重な経験を与えてくださった理事長をはじめとする L O M のメンバーに感謝を申しまして、私の出向者報告とさせていただきます。

ブロック事業推進委員会

委員 小泉 雅人

2009 年度、私は神奈川ブロック協議会のブロック事業推進委員会に出向させていただきました。

主な事業としては会員大会が L O M でもある鎌倉ということからブロック事業のやるべき事と L O M 事業のやるべき事の 2 つを橋渡しする場面もあり大変重要な役割を与えて頂き、それは人から人へ地域から地域へのコミュニケーションとして事業をつくるためには大事なことであり、これは偏に志しが同じでないと出来ない事業だと実感し、その経験が出来た事により私自身も大きく成長したように思います。この経験を生かして仕事や L O M にフィードバックできるように今後も努めさせていただきます。

本年度、出向の機会を与えてくださいました田中理事長をはじめとする鎌倉青年会議所の皆様に感謝をいたします。一年間ありがとうございました。

青少年・市民共育推進委員会

副委員長 菅原 正純

私は、神奈川ブロック協議会 青少年・市民共育推進委員会に副委員長として出向させていただきました。この委員会の事業は、ハイスクール議会 2 0 0 9 の開催、かながわ力

大賞2009の開催と地域教育セミナーと3つの事業を開いたしました。私が担当した事業は、かながわ力大賞2009です。この事業は、神奈川県内で活動している NPO 法人や、市民団体と各事業所をつなげ応援していく事業です。その応援していく形として、各事業所さまより協賛金をいただきより素晴らしい活動をしている団体さまに活動資金として、賞金をお出しするという形をとらせていただきました。本年は、「地域の子供は、地域で育てる」が、委員会のテーマになっておりましたので、教育をキーワードとし青少年育成運動をされている団体さんに目を向け募集をおこなわせていただきました。県内より多数のエントリーをいただき、また県内の各事業所様より多くのご協賛をいただきました。エントリーいただいた団体さんは、みなさん大変、素晴らしい活動をされていて優越をつけるのは、大変困難いたしました。9月5日（土）に鎌倉芸術館にて無事発表することができました。また、田中理事長に二次選考会の審査員としてご協力いただきました。幹事として一年間一緒にがんばってくれた、徳中和広君、委員としてがんばってくれた、中里成光君、森秀樹君、宮本泰三君達には、つたない副委員長でしたが、4人に支えてもらいなんとか一年間やっていくことができました。本年、神奈川ブロック協議会の会員大会を鎌倉青年会議所が主管となる大変な年にブロックのスタッフとして出向させていただき、大変有意義な時間と多くの機会を与えてくれたメンバーの皆様に、感謝を申し上げ神奈川ブロック協議会の出向者報告とさせていただきます。

青少年・市民共育推進委員会

幹事 徳中 和広

ブロックに出向して初めてのスタッフメンバーになりました。そして、菅原副委員長の幹事として出向させていただきました。自分では務まるのか心配でしたが、ほかのスタッフメンバー、委員の支えがあったことで務められました。しかし、一番の支えは菅原副委員長が私の性格を知っていたのか？やってほしいことを的確に言ってくれました。何回か注意をしてくれました。人に注意をする行為はとても勇気がいることです、とても感謝しています。

そして、かながわ力大賞 2009を担当する委員会となり、地域のために頑張っている団体を表彰するためにポスター、チラシをNPOセンターに説明しながらお願いに行きました。そして、企業に賞賛金を頂くことがとても難しかったです。でも、JCのネットワークで予定より一口多く集まりました。

最後になりますが、このような機会を与えてくれた田中理事長とLOMメンバーの皆様そして頼りない幹事にもかかわらず付き合ってくれた菅原副委員長に感謝申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

青少年・市民共育推進委員会

委員 中里 成光

年私は神奈川ブロック協議会 青少年・市民共育推進委員会へ出向をさせていただきました。同委員会へは2007年に続き連続での出向となりました。担当の小委員会では「かながわ力大賞」を受け持ち、当 LOM より副委員長として出向された菅原君のお手伝いをさせて頂きました。かながわ力大賞へは当地鎌倉の団体からも複数のエントリーがあり、中でも

大賞を受賞した「犯罪から鎌倉を守る会」などの鎌倉の力に触れられた事、また、県内各地青年会議所メンバーや市民へアピールする事が出来、自分自身のモチベーションも大きく上げさせて頂きました。多くの委員会メンバーと知り合い勉強をさせて頂きました LOMの皆様に感謝を申し上げ出向者報告とさせて頂きます。

青少年・市民共育推進委員会

委員 宮本 泰三

2009年度、私は神奈川ブロック協議会の「青少年・市民共育推進委員会」に菅原正純副委員長、徳中和広幹事のもと委員として出向させて頂きました。さらには同じく委員に中里成光君、森秀樹君という頼もしいメンバーも出向し、神奈川ブロックに鎌倉青年会議所の存在を大きくアピールできた一年と感じております。

さて、今年一年の事業は大きく分けて三つのことを行いました。まず一つ目として、私たち出向者に向けての講演会です。歴代ブロック会長をお招きして、JCと青少年及び市民との関わりをご自身の体験談を交えながら、わかりやすく私たちにご講演いただき、私たち出向者メンバーは多くの気づきを得ることができました。

二つ目に、かながわハイスクール議会2009の開催がありました。7、8月という真夏の神奈川県庁を舞台に、県内各地から参加した高校生は「自分のまちは自分でつくる」という気概を本気でぶつけ、議会最終日には非常に優れた提言が出され、私たち大人に負けない熱い気持ちが伝わってきました。

三つ目に、菅原副委員長率いる当小委員会のミッションとして、「かながわ力大賞」を開催致しました。この大賞は、神奈川県内で活動するNPO団体や市民団体との、団体間の枠を超えたネットワークの構築を行い、各団体の事業の効率化や効果的な活動の実施に向け、団体の活動を県内へ広く発信し、また素晴らしい活動をされている団体を地域で支えることを目的して表彰するものです。8月に鎌倉で行われた二次選考会では、県内各地から多くの団体に鎌倉までお越しいただき、それぞれの団体から、本気で熱いプレゼンテーションが繰り広げられました。その過程を経て9月5日の会員大会鎌倉大会の最終選考会で見事、私たちの住む鎌倉から「犯罪から鎌倉を守る会」が大賞を受賞されました。このことは私たちに大きな誇りとなり、本事業をやって本当に良かったと思えました。

最後に、このような貴重な機会をいただいた田中理事長やご協力いただいたメンバーに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

青少年・市民共育推進委員会

委員 森 秀樹

私は本年度、神奈川ブロック協議会の青少年・市民共育推進委員会に出向させて頂きました。2000年度に1度出向させて頂いたのですが、2001年度から2008年度は出向からは遠ざかっており、このたび9年ぶり2回目という事でかなりブランクが開いておりましたので、当初は多少不安もありましたが、1年間の活動を終えてみますと自分なりに頑張ってきたのではないかと感じております。

青少年・市民共育推進委員会では大きく分けて3種類の活動をして参りました。第1に、7月から8月にかけて行われたかながわハイスクール議会です。私は全3日中2日目の午

前中しか出席出来ませんでした。高校生達の神奈川県についての真剣な議論の場を少しは体感出来たのではないかと思います。第2に、8月から9月の会員大会当日にかけて行われたかながわ力大賞です。地域の防犯に日夜取り組んでおられる方々や、地域の落書き消しにご尽力されている方々など神奈川県内におけるボランティア活動について知る事が出来ました。第3に、歴代ブロック会長の方々による研修会です。こちらでは、歴代ブロック会長の方々のJ Cに対する考え方や、現役時代の苦労話など色々な事をお聞きする事が出来ました。

最後に、1年間大変お世話になりました横須賀J Cの大泉委員長をはじめと致します委員会のメンバーの皆様、そして私を出向させて頂きました田中理事長をはじめと致しますLOMのメンバーの皆様に深く感謝申し上げ、出向者報告とさせていただきます。有難うございました。

行動プラン実践委員会

委員 鈴木 泰三

神奈川ブロックの行動プラン実践委員会に出向させていただきました。本年度は、衆議院選挙をはじめ各地での首長選挙などが多く開催され、政治や選挙に多くの人たちが感心を示す中、委員会としては、憲法タウンミーティング、神奈川県知事マニフェスト検証大会、会員大会での環境事業の3本柱をかかげて行ってまいりました。行ってきた事業も中身の濃い素晴らしい事業でしたが、大変結束力の高い委員会で、多くのメンバーに参加してもらおうとする委員会の設営においてもとても学ぶことが多い委員会でした。今度はユニフォームを作って野球チームも作るということです。最後になりますが、出向させていただいた田中理事長をはじめとするメンバーの皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

行動プラン実践委員会

委員 久坂 誠治

私が出向した行動プラン実践委員会では特に今年マニフェスト討論会が活動のメインに挙げられます。昨今政治参加をうたい選挙のときにさまざまな取り組みをする団体は多いのですが、選挙が終わって2年たって改めて県知事と呼んでマニフェストの進捗を公開するという試みはあまり無いのではないかと思います。言い方はよくないですがとにかく「やりっぱなし」感のあるJ Cの活動においてたいへん自分自身の血となり骨となる活動ができました。また、この委員会は懇親会がとてつもなく、しかも1年を終了した後この委員会が中心となって野球チームまでできてしまったという非常に仲のよい委員会でした。

LOMサービス推進委員会

委員 齋藤 義博

本年度、神奈川ブロック協議会 LOMサービス推進委員会に委員として出向させていただきました。私自身、初めての出向でしたが年当初より田中委員長（川崎J C）の積極的なリードのもと、ブロック協議会の一員として齋藤会長（横浜J C）の掲げる所信や思いを遂行すべく活動がスタートしました。

その中で、所属は「拡大小委員会」でした。日本J Cの掲げる「30%拡大」という目

標に対してブロックとして各LOMの動向を把握し、メンバーの拡大に対する働きかけをしていき、対内・対外的にも充実した組織を目指しました。一年間の活動を通して強く感じたことは、メンバーひとりひとりの資質を向上させるために、行動目標の設定・目標に到達したかの検証・検証から見える課題の抽出を繰り返していることでした。また、齋藤会長の理念に対して委員会が常に前向きに活動していたことは、LOMの活動に対してもフィードバックできるものでした。さらに、「鎌倉JC」という垣根を越え「神奈川ブロック」という少し広いエリアで、いろいろなメンバーたちと議論し事業を遂行できたことは、貴重な財産になったと同時に楽しい思い出となりました。

そもそも青年会議所は、さまざまな地域で、さまざまな人間と、さまざまな運動や活動を通してそれを市民に働きかけ、最終的には「明るい豊かな社会の創造」に繋がってこそ初めて価値が出てくるものと思います。私は本年度、JCラストイヤーになりましたが、今後も多くの現役メンバーにこの有意義で充実した時間を経験してもらいたいですし、出向を通して「自分たちのまちをさらに良くしていく！」という気概を持つことが重要であると思います。また、神奈川ブロックにも鎌倉JCにもそれがわかるメンバーがたくさんいるものと信じております。

最後になりますが、このかけがえの無い経験とチャンスを与えてくださった田中理事長に心より感謝申し上げますと共に、LOMサービス推進委員会 田中委員長、そして一年間活動してまいりました全てのメンバーの皆様に感謝を申し上げ出向者報告とさせていただきます。

LOMサービス推進委員会

委員 石渡 隆雄

2009年度、神奈川ブロック協議会 LOM サービス推進委員会の委員として出向させて頂きました。私が配属になりました小委員会は、担当委員会と同じ拡大でしたので、色々な情報や他 LOM の拡大担当との親交など、多くの経験をさせて頂き、一年間勉強させて頂いた事を、今後の JC 活動に繋げていきたいと思っております。

田中理事長をはじめ鎌倉青年会議所の皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます

LOMサービス推進委員会

委員 柿澤 伸宜

本年、私は神奈川ブロック協議会のLOMサービス推進委員会に委員として出向させて頂きました。

私は去年2008年度は、神奈川ブロック運営委員、関東地区運営委員として出向させて頂きましたが、また違った雰囲気を感じさせて頂きました。本年度は鎌倉青年会議所が、第37回神奈川ブロック会員大会を主管させて頂くこともあり、神奈川ブロックの他のLOMのメンバーの鎌倉に対する熱い思いも感じさせて頂きました。また、自分のLOMではない、他のLOMとの人々との交流が、また色々な経験となり勉強させて頂きました。

このような貴重な経験をさせて頂いた田中理事長をはじめとする、鎌倉青年会議所の皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。